

| | | | |
|--------|-----|-----|--------|
| 開講期間 | 配当年 | 単位数 | 科目必選区分 |
| 後期・前期 | 3・4 | 1 | 必修 |
| 担当教員 | | | |
| 池上 益世 | | | |
| 水1,2 | | | |
| 添付ファイル | | | |
| | | | |

| | |
|-------|--|
| 科目の概要 | 前半は個別健康教育における基本的なスキルや心構えについて体験的に学習ができるよう、ロールプレイによる模擬個別健康教育及びコンピューターシステムを使った模擬イベントなど行う。 後半は集団健康教育に活用のできるポスターやリーフレットなどの媒体の作成と生活習慣病予防などのテーマで模擬集団健康教育の実施と相互評価を行う。 |
| 授業の内容 | <p>第1回 前半オリエンテーション・栄養教育におけるカウンセリング 授業の進め方、成績評価について説明する。 栄養カウンセリングについて解説する。 栄養教育論 I で使用したテキストの栄養カウンセリングの項目を復習しておく。</p> <p>第2回 栄養カウンセリングの基本的態度 1 栄養カウンセリングの基本的態度について解説し、カウンセラーとクライアント役に分かれて、聴く姿勢・態度について体験する。 栄養教育論 I で使用したテキストの栄養カウンセリングの項目を復習しておく。</p> <p>第3回 栄養カウンセリングの基本的態度 2 栄養カウンセリングにおける傾聴の意義を解説する。 初回面接におけるかかわり方について、ロールプレイで実習する。</p> <p>第4回 栄養カウンセリングの基本的態度 3 傾聴を構成する技法についてを解説する。 相手の話を熱心に聞く態度と正確に聞き取る方法について体験する。</p> <p>第5回 栄養カウンセリングの基本的態度 4 ロールプレイによるクライアント役の体験 自らがクライアント役を体験することで、クライアントの気持ちを大切にすることを学ぶ。</p> <p>第6回 栄養カウンセリングの基本的態度 5 開かれた質問、閉ざされた質問を考え、その効果をロールプレイを通じて学ぶ。</p> <p>第7回 栄養カウンセリングの基本的態度 6 沈黙の意味と要約 カウンセリングの中での沈黙の意味を考える。 クライアントの話を要約することをロールプレイを通じて学ぶ。</p> <p>第8回 模擬個別健康教育の実施 2人1組になり、テーマを選び個別健康教育の内容を検討する。</p> <p>第9回 模擬個別健康教育の発表と相互評価 1 2人一組で個別健康教育を実施する。 他の組の発表について、評価する。</p> <p>第10回 模擬個別健康教育の発表と相互評価 2 2人一組で個別健康教育を実施する。 他の組の発表について、評価する。</p> <p>第11回 模擬個別健康教育の発表と相互評価 3 2人一組で個別健康教育を実施する。 他の組の発表について、評価する。</p> <p>第12回 コンピューターシステムを活用した栄養教育 I コンピューターシステムを使ってみよう。 ・システムの準備をする。 ・評価する栄養価を設定する。 ・自分の食事を確認しよう。</p> <p>第13回 コンピューターシステムを活用した栄養教育 2 模擬イベントを行おう。 グループに分かれて、課題を選ぶ。 選んだ課題について模擬イベントの栄養教育の内容を考える。</p> <p>第14回 コンピューターシステムを活用した栄養教育 3 模擬イベントを行おう。 グループごとに模擬イベントにおける栄養教育を発表する。 他のグループの発表について、評価する。</p> <p>第15回 コンピューターシステムを活用した栄養教育4・前半まとめ 模擬イベントを行おう。 グループごとに模擬イベントにおける栄養教育を発表する。 他のグループの発表について、評価する。 前半のまとめを行う。</p> <p>第16回 後半オリエンテーション・集団を対象とした栄養教育、食育について 後半オリエンテーション 授業の進め方、成績評価について説明する。 集団を対象とした栄養教育、食育について解説する。</p> |

| | | | | | | | |
|---------------------------|---|----------|-----|----|-----|---------------|-----|
| | <p>第17回 栄養教育論Ⅰで使用したテキストの栄養教育の項目を復習しておく。 集団を対象とした媒体を作成する。1 集団を対象とした媒体の種類、内容について解説する。 課題を決定する。</p> <p>第18回 集団を対象とした媒体を作成する。2 決まった課題にそって、媒体を作成する。</p> <p>第19回 集団を対象とした媒体を作成する。3 決まった課題にそって、媒体を作成する。</p> <p>第20回 集団を対象とした媒体について発表する。 作成した媒体について説明する。 他の人の媒体をみて、説明を聞き評価する。</p> <p>第21回 ライフステージ別、課題別の集団健康教育の計画1 集団の健康教育について復習する。 グループに分かれて、課題を選び、模擬集団健康教育を企画する。</p> <p>第22回 ライフステージ別、課題別の集団健康教育の計画2 課題を選び、模擬集団健康教育を企画書を作成する。</p> <p>第23回 ライフステージ別、課題別の集団健康教育の計画3 模擬集団健康教育の媒体・配布資料を作成する。</p> <p>第24回 ライフステージ別、課題別の集団健康教育の計画4 模擬集団健康教育の媒体・配布資料を作成する。</p> <p>第25回 ライフステージ別、課題別の集団健康教育の計画5 模擬集団健康教育のシナリオを作成する。</p> <p>第26回 ライフステージ別、課題別の集団健康教育の計画6 リハーサルを行う。</p> <p>第27回 ライフステージ別、課題別の集団健康教育の実施1 模擬集団健康教育の発表を行う。 他者の発表を聞き評価する。</p> <p>第28回 ライフステージ別、課題別の集団健康教育の実施2 模擬集団健康教育の発表を行う。 他者の発表を聞き評価する。</p> <p>第29回 ライフステージ別、課題別の集団健康教育の実施3 模擬集団健康教育の発表を行う。 他者の発表を聞き評価する。</p> <p>第30回 まとめ まとめを行う</p> | | | | | | |
| 学習到達目標 | 管理栄養士として、健康の保持・増進につながる栄養教育を行うために必要なスキルを身につける。 個別健康教育の実践に必要なカウンセリングの基本的な技術を体験を通じて身につける。 集団健康教育のために対象を評価し、計画し、実行、評価を行うための技術を身につける。 | | | | | | |
| 授業の方法 | 前半はカウンセリングの基本的な技術をレクチャーと体験を行うことによって学び、学習した技術を基本にしてロールプレイによる模擬個別健康教育を行う。またコンピューターシステムの使用方法を学び、イベントのシミュレーションを行う。 後半は集団健康教育に活用ができる媒体を作成する。集団健康教育を企画し、実施する。 | | | | | | |
| 成績評価の方法 | <table> <tr> <td>実習への参加態度</td> <td>40%</td> </tr> <tr> <td>発表</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>媒体・課題・レポートの提出</td> <td>30%</td> </tr> </table> | 実習への参加態度 | 40% | 発表 | 30% | 媒体・課題・レポートの提出 | 30% |
| 実習への参加態度 | 40% | | | | | | |
| 発表 | 30% | | | | | | |
| 媒体・課題・レポートの提出 | 30% | | | | | | |
| 教科書・テキスト | 必要時プリントを配布する。 | | | | | | |
| 参考書 | 栄養カウンセリング論 第2版 小松啓子・大谷貴美子編 講談社サイエンティフィック | | | | | | |
| 授業時間外の学修について(事前・事後学習について) | 健康教育論の教科書を復習し、実習で行う模擬健康教育の企画や実施に必要な知識を再度確認する。 病院や薬局、官公庁などで配布されるリーフレットやパンフレットをもらってくる。街中で見かけるポスターなどの掲示物の写真にとる。など日ごろから情報収集に努める。 媒体作成や課題の検討、健康教育のシナリオなどは授業時間外の作業が必要ですので積極的に取り組むこと。 | | | | | | |
| 履修上の留意事項 | | | | | | | |
| オフィスアワー | 木曜日2限 | | | | | | |
| 実務経験 | 保健センター、保健所で行政栄養士として、健康教育、健康相談等を担当 | | | | | | |
| その他 | 欠席したときは次の実習までに池上の研究室に来て指示を受ける。 | | | | | | |